

## 新年のご挨拶

太田市医師会長 小 島 章

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年が平和で、平穏で、安心して暮らせる年であることを心より祈念しております。

今年は安倍内閣が発足し一年余、アベノミクスの効果にて、円安、株価上昇等もあり、経済には明るさも見えていると思われまふ。太田市では、地元の富士重工の自動車販売は好調のようです。が、医療界への影響には問題があります。少子高齢化が進み、医療・介護が身近で切実な問題になっています。限りある財源と、限りある医療の人的資源の中で、満足のいく医療を提供できるのか？「医政なくして医療なし」これはまさに大いに政治の問題であります。今年には社会保障の拡充のために、消費税を8%に増税するとの約束が怪しくなる気配があります。医療の安心安全を担保する今年4月の診療報酬の改定で、財務省は医療従事者の犠牲を強いるマイナス改定へ政策誘導し、厚労省は流石に地方の医療崩壊を防ぐためにもプラス改定を主張し、医療難民を増加させぬようにしていただきたいものです。窓口負担も増加させることなく、軽減の実施をお願いしたいものです。税率が8%に上がる今年4月の診療報酬改定で、我々が、更に新たな負担を生ずることのない財源の確保と、医療の消費税の問題が、抜本的解決を図られることが多くの会員に期待されております。介護保険も、高齢者が増加し、公的介護の役割が重要となるときに、国の責任を後退させ、利用者や家族に負担を重くし、行き場を失う高齢者を増加させることは困ったものです。

昨年、県医師会では、偉大なるリーダーの鶴谷嘉武先生を亡くし、新たに月岡関夫会長先生のもと、新体制にて難局を切り開き、今年も我々を指導していただきたいと存じます。

さて、太田市医師会では、昨年4月より一般社団法人に移行し、医師会活動の拠点として新医師会館を建設中であります。元の市民会館の跡地で、大きな樺と緑の芝生が美しい、太田市の一等地の一つである太田市中央公園の隣接地に、地域医療の拠点としての太田市保健センター、太田市平日夜間急病診療所と合築して、3階建て部分の3階に、約1000㎡の広さです。平成25年12月、建物は完成し、今年3月に引っ越し、4月運用開始予定です。3月16日（日）記念式典を予定しております。

新天地を得て、今後とも、我々は地域医療の充実に努め、住民の方々の、生命と健康を守る使命を全うすべく、精励する所存であります。ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。結びになりますが、群馬県医師会、太田市医師会、関係各位のご健勝、ご多幸を衷心より祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

平成26年1月